

平成27年度
学校関係者評価報告書

平成28年11月

学校法人筑波研究学園
成田つくば航空専門学校
学校関係者評価委員会

○平成27年度 学校関係者評価報告書について

1978年（昭和53年）の新東京（成田）国際空港の開港により、首都圏における航空時代の幕開けとして、国の航空行政や大手航空会社等の支援を受け、大きな期待のもとに同年4月に「成田航空大学校」として開校しました。その後、「成田航空専門学校」に校名を変更、そして学校法人筑波研究学園のもと「成田つくば航空専門学校」としてグローバルな人材育成を行っています。

学校教育法は、専修学校に学校評価の規定の準用を定めています。平成25年3月には「専修学校における学校評価ガイドライン」も策定されました。学校の「自己評価」はもとより、企業・関係団体・卒業生・在校生保護者・地域の関係者等が学校関係者として専門学校の評価に参画する「学校関係者評価」の実施と公表、その結果を踏まえた学校運営の改善に取り組むことを規定しています。

成田つくば航空専門学校でも、このガイドラインを参考にして、平成25年4月より、評価委員会を設置し、真摯に学校評価に取り組み、現状の把握、課題および今後の改善策を協議検討して参りました。

以下、先般開催した学校関係者評価委員会の点検・評価について報告します。

1. 実施日時・場所

平成28年11月17日（木）14：00～16：00

成田つくば航空専門学校 E22 教室

2. 実施方法

(1) 実施組織：学校関係者評価委員会

○評価委員

工東信郎	公益社団法人 日本航空技術協会 事務局長
飯塚 誠	株式会社インテックス 営業管理本部 副本部長
新藤秀明	日本飛行機株式会社 人事部 人財育成課長
谷村隆士	株式会社 IHI 航空宇宙事業本部 武蔵総務部 主幹
森本 健	日本航空株式会社 整備本部 業務部 統括マネージャー
清水孝悦	春秋航空日本株式会社 総務人事部 人財開発室 担当部長
石堂保孝	取手市小堀地区 区長
渡邊和浩	成田つくば航空専門学校 保護者代表
小林まい子	成田つくば航空専門学校 保護者代表
東屋善昭	成田つくば航空専門学校 保護者代表
古橋幸雄	成田つくば航空専門学校 保護者代表
郡司拓弥	成田つくば航空専門学校 卒業生代表
伊大知竜太	成田つくば航空専門学校 卒業生代表
梶ヶ谷遥輝	成田つくば航空専門学校 卒業生代表
小林拓矢	成田つくば航空専門学校 卒業生代表
大本達也	成田つくば航空専門学校 卒業生代表

○学校関係

柿崎明人	成田つくば航空専門学校	校長
山口繁則	成田つくば航空専門学校	副校長
檜山直己	成田つくば航空専門学校	入学広報部長
染谷敏文	成田つくば航空専門学校	事務部長
山本卓二	成田つくば航空専門学校	教務部長
春日由光	成田つくば航空専門学校	進路渉外部長
谷 修	成田つくば航空専門学校	航空工学科 学科長
藤井伸一	成田つくば航空専門学校	航空整備学科 学科長
佐藤宣知	成田つくば航空専門学校	航空ビジネス学科 学科長
加羅田英司	成田つくば航空専門学校	事務局
赤羽根隆之	学校法人 筑波研究学園	常務理事

(2) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

(3) 評価方法：平成27年度学校自己点検・評価報告書に対する学校関係者評価

3. 評価の項目

以下の10項目を実施します。

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価

(1) 次の4段階をもとに「学校自己点検・評価報告書」の各評価項目の平均点を小数点以下1位までを評価。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(2) 委員会で出された意見や質疑、提案事項を記載。

5. その他

平成27年度 学校自己点検・評価報告書を合わせご覧ください。

(1) 教育理念・目標 **評価 4.0**

- ・中長期的には整備士の指定養成施設を目指し、3年後には卒業生を輩出する将来構想については理解できた。実現に向け努力を願いたい。
- ・学生の学習環境整備として、現在の机と椅子の更新を考慮しているようであるが、早期の実現をお願いしたい。
- ・3～5年後には新校舎建設や厚生施設の充実等を考慮しているとのことであるが、是非実現して頂きたい。

(2) 学校運営 **評価 3.9**

- ・騒音対策や学生のマナーの点で、小堀地区区長に苦情は寄せられてはなく、地域との良好な関係が保たれている。
- ・他の航空専門学校も企業OBのベテラン教官が多いが、一部の学校では卒業生を雇用するなど、若い教員の確保をしている。関連企業への教師派遣依頼等を併せて、対応等を考慮して欲しい。

(3) 教育活動 **評価 3.8**

- ・現在の生徒はスマホの操作は慣れているが、パソコン操作は苦手な学生が多い。社会に出て必要な知識や技能を身に付けさせて欲しい。
- ・高校生の時に比べ、学校の様子が子供から入ってこない。授業参観は有益と考えているが、何時でも参観可能とのことであり、是非参観したい。
- ・教科書だけでなく、様々な経験やそれから得た内容等を授業に盛り込んで話して頂きたい。社会に出てからはそのような昔話を聞く機会が少ないのでお願いしたい。

(4) 学修成果 **評価 3.8**

- ・卒業生として、休日に時間があれば学校を訪れるようにしており、学校の設備・グラウンド等環境が良くなった。学生時代は少人数であったこともあり、各個人と先生の話す機会が多く、個人をしっかりと見てもらっていたように思う。卒業後に気軽に学校へ行きやすい雰囲気が非常に良いと思われる。

(5) 学生支援 **評価 3.5**

- ・入社採用基準の1つとして、ボランティア活動やクラブ活動にて、どのような役割を果たしてきたかをエントリーシートや面接において聞かれているケースが多い。そのことを通じて、集団の中でリーダーシップやチームワークが発揮出来るか判断するため、ボランティア活動等は重要であり、その支援体制を充実して欲しい。
- ・ドローン競技、ロボット作成、ラジオコントロール機競技会等、チームで活動する体験を積ませて欲しい。
- ・実技授業が多く怪我をした場合には、学校のリスクマネジメントとの1つとして聖仁会病院（車で約5分程度）を周知している。将来的には保健室の設置を期待する。
- ・うつ病等において、他校では問題になっているようであるが、御校ではそのようなことのないよう、教師のきめ細かい対応をお願いしたい。

(6) 教育環境 **評価 3.0**

- ・英語の必要性を感じて欲しい。以前にボーイング社工場見学やホームステイ等を実施していたとのことで、学生時代の海外研修は意義深いと思われるので再開してもらいたい。学生時代に経験することに意味があると思われる。

(7) 学生の受入れ募集 **評価 4.0**

- ・学生数が若干ではあるが増えているのは良いことと思う。

(8) 財務 **評価 3.8**

- ・財務の状況については、ホームページで公開しているようなので確認したい。
- ・入学者確保や退学者の低減、経費節減に努めていかななくてはならないことを、全教職員の共通理解として取り組んでいることは評価したい。

(9) 法令等の遵守 **評価 3.8**

- ・法人全体でセキュリティポリシーを明確化することのことで、詳細が決まれば情報を伝えて欲しい。

(10) 社会貢献・地域貢献 **評価 3.0**

- ・御校のようにドクターヘリの離着陸場として、施設を提供しているのは素晴らしく、評価できる。
- ・水害時に、学校を非難場所として利用できるようにして欲しい。

以上